

**Q****国保税、介護保険料の引下げを****A****引下げは困難である****高田 克彦 議員****質問一** 国民健康保険税の引下げを。

ことによる。また、保険税の軽減対象世帯も増加している。

**二** 介護保険料の引下げをするべきだが、どうか。

高齢化に伴う医療費の増加と先行き不透明な経済情勢の中で、国民健康保険の安定的な運営を維持するためには、現在の税率の引下げは困難である。今後は埼玉県市町村国保広域化等支援方針に基づき、賦課限度額の引上げ、賦課方式の2方式化、保険税の軽減割合

**答弁一（市長）** 国民健康保険

の収納額は被保険者数が増加しているにも関わらず、平成20年度をピークに年々減少傾向にある。これは長引く景気の低迷によって被保険者の課税対象所得が減少した

ことによる。また、保険税の軽減対象世帯も増加している。

高齢化に伴う医療費の増加と先行き不透明な経済情勢の中で、国民健康保険の安定的な運営を維持するためには、現在の税率の引下げは困難である。今後は埼玉県市町村国保広域化等支援方針に基づき、賦課限度額の引上げ、賦課方式の2方式化、保険税の軽減割合



国民健康保険の窓口

**Q****安全安心な給食づくりについて****A****安全な食材の使用に努める****大野 洋子 議員**

の統一など、県内の平準化に向けた検討を行う。

**二** 介護給付費準備基金をできる限り活用することで保険料額の上昇の抑制を図っていく予定である。県の財政安定化基金についても、時間的に活用できるように、県へ要望している。◎**その他の質問** PFI手法で進められている学校給食センターの到達点と今後について**質問一**

鶴ヶ島産野菜の使用と遺伝子組換え食品や放射能などの食材への対応について。

**二** 給食センター更新施設をPFI

I事業で進める市の考え方について。

**答弁一（教育委員長）** 地産地消

の取り組みとして、年々地元産の食材の使用量を増やし、各学校で紹介しており、郷土食材に対する興味や関心を高めている。

遺伝子組換え食品は、ラベル表示されているものは使用していないが、表示義務のない加工食品等についての混入は把握できていない。食材の放射能の影響については



発注時や納品時の産地確認や放射性物質の影響等の調査・確認をし、また、専門検査機関に委託し、食材の検査をしていく。

**二** 財政負担の縮減、サービス水準の向上、効果的・効率的な施設運営等を目的に、民間の持つ資金技術、ノウハウを活用し、公民連携の有力な一手法として、PFIの導入を検討し、採択した。学校給食の持つ教育的な意義を踏まえつつ、PFIの効果を引き出せるよう、適切に事務事業に取り組み◎**その他の質問** 避難所と地域の連携体制について